

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成23年2月10日 (2011.2.10)

【公表番号】特表2010-536085(P2010-536085A)
 【公表日】平成22年11月25日 (2010.11.25)
 【年通号数】公開・登録公報2010-047
 【出願番号】特願2010-519846(P2010-519846)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 3 0 A

G 0 6 F 17/30 1 7 0 G

G 0 6 F 17/30 1 4 0

G 0 6 F 17/30 2 2 0 C

【手続補正書】
 【提出日】平成22年12月17日 (2010.12.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

マルチメディア検索のためにユーザから入力されたクエリを表現する装置であって、
 ユーザからマルチメディア検索のためのクエリの入力を受ける入力手段と、
 前記入力されたクエリをフィールドタイプで表現する表現手段と、
 を備え、
 前記フィールドタイプが、

前記入力されたクエリに含まれた検索条件を表すフィールドの固有識別情報を表す識別子情報、前記フィールドのデータタイプ情報を表すタイプ情報、および参照のために他のフィールドの前記識別子情報を表す参照情報のうち少なくとも何れか 1 つを含むことを特徴とする表現装置。

【請求項 2】

前記フィールドタイプが、アイテムのメタデータを用いたデータベース技術であり、
 前記データベースは、XPath形式で記述され、
 前記XPath形式は、アイテムのメタデータを表し、選択的に関連したXPath形式を表し、
 前記関連したXPath形式は、outputNameSpaceによって与えられたスキーマの複合タイプを表すことを特徴とする請求項 1 に記載の表現装置。

【請求項 3】

前記識別子情報が、各フィールドごとに割当てられた固有の識別子であり、入力クエリで、フィールド識別子を用いて他のフィールドを参照することができることを特徴とする請求項 2 に記載の表現装置。

【請求項 4】

前記タイプ情報が、outputNameSpaceによって与えられた他のメタデータのスキーマまたはMpeg7で定義された複合データタイプのネーム技術であり、関連したXPath形式の開始点としての役割をすることを特徴とする請求項 2 に記載の表現装置。

【請求項 5】

前記参照情報が、フィールド内でフィールド識別子を参照するために使用されることを

特徴とする請求項 2 に記載の表現装置。

【請求項 6】

前記フィールドが、

MPEG-7 標準で定義される QFDeclaration に含まれ、他のフィールドで参照される前記識別子情報を含む DeclaredField であることを特徴とする請求項 1 に記載の表現装置。

【請求項 7】

前記フィールドタイプが、token Type 形式から拡張された複合タイプであって、アイテムのメタデータを用いたデータパス技術であり、

前記データパスは、XPath 形式で記述され、

前記 XPath 形式は、アイテムのメタデータを表し、選択的に関連した XPath 形式を表し、

前記関連した XPath 形式は、フィールドの再使用のための ID による他のフィールドタイプを表すことを特徴とする請求項 6 に記載の表現装置。

【請求項 8】

前記識別子情報が、各フィールドごとに割当てられた固有の識別子であり、

入力クエリで、フィールド識別子を用いて、他のフィールドを参照することができることを特徴とする請求項 7 に記載の表現装置。

【請求項 9】

前記タイプ情報が、outputNameSpace によって与えられた他のメタデータのスキーマまたは Mpeg 7 で定義された複合データタイプのネーム技術であり、

関連した XPath 形式の開始点としての役割をすることを特徴とする請求項 7 に記載の表現装置。

【請求項 10】

マルチメディア検索のためにユーザから入力されたクエリを表現する方法であって、

ユーザからマルチメディア検索のためのクエリの入力を受ける入力ステップと、

前記入力されたクエリをフィールドタイプで表現する表現ステップと、

を含み、

前記フィールドタイプが、

前記入力されたクエリに含まれた検索条件を表すフィールドの固有識別情報を表す識別子情報、前記フィールドのデータタイプ情報を表すタイプ情報、および参照のために他のフィールドの前記識別子情報を表す参照情報のうち少なくとも何れか 1 つを含むことを特徴とする表現方法。

【請求項 11】

前記フィールドタイプが、アイテムのメタデータを用いたデータパス技術であり、

前記データパスは、XPath 形式で記述され、

前記 XPath 形式は、アイテムのメタデータを表し、選択的に関連した XPath 形式を表し、

前記関連した XPath 形式は、outputNameSpace によって与えられたスキーマの複合タイプを表すことを特徴とする請求項 10 に記載の表現方法。

【請求項 12】

前記識別子情報が、各フィールドごとに割当てられた固有の識別子であり、入力クエリで、フィールド識別子を用いて他のフィールドを参照することができることを特徴とする請求項 11 に記載の表現方法。

【請求項 13】

前記タイプ情報が、outputNameSpace によって与えられた他のメタデータのスキーマまたは Mpeg 7 で定義された複合データタイプのネーム技術であり、関連した XPath 形式の開始点としての役割をすることを特徴とする請求項 10 に記載の表現方法。

【請求項 14】

前記参照情報が、フィールド内でフィールド識別子を参照するために使用されることを特徴とする請求項 11 に記載の表現方法。

【請求項 15】

前記フィールドが、

MPEG-7標準で定義されるQFDeclarationに含まれ、他のフィールドで参照される前記識別子情報を含むDeclaredFieldであることを特徴とする請求項10に記載の表現方法。

【請求項16】

前記フィールドタイプが、token Type形式から拡張された複合タイプであって、アイテムのメタデータを用いたデータパス技術であり、

前記データパスは、XPath形式で記述され、

前記XPath形式は、アイテムのメタデータを表し、選択的に関連したXPath形式を表し、

前記関連したXPath形式は、フィールドの再使用のためのIDによる他のフィールドタイプを表すことを特徴とする請求項15に記載の表現方法。

【請求項17】

前記識別子情報が、各フィールドごとに割当てられた固有の識別子であり、

入力クエリで、フィールド識別子を用いて、他のフィールドを参照することができることを特徴とする請求項16に記載の表現方法。

【請求項18】

前記タイプ情報が、outputNameSpaceによって与えられた他のメタデータのスキーマまたはMpeg7で定義された複合データタイプのネーム技術であり、

関連したXPath形式の開始点としての役割をすることを特徴とする請求項16に記載の表現方法。

【請求項19】

ユーザから入力されたクエリに基づいて、マルチメディアデータを検索する検索装置であって、

前記入力されたクエリをフィールドタイプで表現する表現手段と、

前記フィールドタイプで表現された前記クエリに基づいて、マルチメディアデータを検索する検索手段と、

を備え、

前記フィールドタイプが、

前記入力されたクエリに含まれた検索条件を表すフィールドの固有識別情報を表す識別子情報、前記フィールドのデータタイプ情報を表すタイプ情報、および参照のために他のフィールドの前記識別子情報を表す参照情報のうち少なくとも何れか1つを含むことを特徴とする検索装置。

【請求項20】

前記フィールドタイプが、アイテムのメタデータを用いたデータパス技術であり、

前記データパスは、XPath形式で記述され、

前記XPath形式は、アイテムのメタデータを表し、選択的に関連したXPath形式を表し、

前記関連したXPath形式は、outputNameSpaceによって与えられたスキーマの複合タイプを表すことを特徴とする請求項19に記載の検索装置。

【請求項21】

前記識別子情報が、各フィールドごとに割当てられた固有の識別子であり、入力クエリで、フィールド識別子を用いて他のフィールドを参照することができることを特徴とする請求項20に記載の検索装置。

【請求項22】

前記タイプ情報が、outputNameSpaceによって与えられた他のメタデータのスキーマまたはMpeg7で定義された複合データタイプのネーム技術であり、関連したXPath形式の開始点としての役割をすることを特徴とする請求項20に記載の検索装置。

【請求項23】

前記参照情報が、フィールド内でフィールド識別子を参照するために使用されることを特徴とする請求項20に記載の検索装置。

【請求項24】

前記フィールドが、

MPEG-7標準で定義されるQFDeclarationに含まれ、他のフィールドで参照される前記識

別子情報を含むDeclaredFieldであることを特徴とする請求項 19 に記載の検索装置。

【請求項 25】

前記フィールドタイプが、token Type形式から拡張された複合タイプであって、アイテムのメタデータを用いたデータパス技術であり、

前記データパスは、XPath形式で記述され、

前記XPath形式は、アイテムのメタデータを表し、選択的に関連したXPath形式を表し、

前記関連したXPath形式は、フィールドの再使用のためのIDによる他のフィールドタイプを表すことを特徴とする請求項 24 に記載の検索装置。

【請求項 26】

前記識別子情報が、各フィールドごとに割当てられた固有の識別子であり、

入力クエリで、フィールド識別子を用いて、他のフィールドを参照することができることを特徴とする請求項 25 に記載の検索装置。

【請求項 27】

前記タイプ情報が、outputNameSpaceによって与えられた他のメタデータのスキーマまたはMpeg7で定義された複合データタイプのネーム技術であり、

関連したXPath形式の開始点としての役割をすることを特徴とする請求項 25 に記載の検索装置。

【請求項 28】

ユーザから入力されたクエリに基づいて、マルチメディアデータを検索するために前記クエリがフィールドタイプで表現されたデータ構造が記録された記録媒体であって、

前記入力されたクエリに含まれた検索条件を表すフィールドの固有識別情報を表す識別子情報、前記フィールドのデータタイプ情報を表すタイプ情報、および参照のために他のフィールドの前記識別子情報を表す参照情報のうち少なくとも何れか1つを含むことを特徴とする記録媒体。

【請求項 29】

前記フィールドタイプが、アイテムのメタデータを用いたデータパス技術であり、

前記データパスは、XPath形式で記述され、

前記XPath形式は、アイテムのメタデータを表し、選択的に関連したXPath形式を表し、

前記関連したXPath形式は、outputNameSpaceによって与えられたスキーマの複合タイプを表すことを特徴とする請求項 28 に記載の記録媒体。

【請求項 30】

前記識別子情報が、各フィールドごとに割当てられた固有の識別子であり、入力クエリで、フィールド識別子を用いて他のフィールドを参照することができることを特徴とする請求項 29 に記載の記録媒体。

【請求項 31】

前記タイプ情報が、outputNameSpaceによって与えられた他のメタデータのスキーマまたはMpeg7で定義された複合データタイプのネーム技術であり、関連したXPath形式の開始点としての役割をすることを特徴とする請求項 29 に記載の記録媒体。

【請求項 32】

前記参照情報が、フィールド内でフィールド識別子を参照するために使用されることを特徴とする請求項 29 に記載の記録媒体。

【請求項 33】

前記フィールドが、

MPEG-7標準で定義されるQFDeclarationに含まれ、他のフィールドで参照される前記識別子情報を含むDeclaredFieldであることを特徴とする請求項 28 に記載の記録媒体。

【請求項 34】

前記フィールドタイプが、token Type形式から拡張された複合タイプであって、アイテムのメタデータを用いたデータパス技術であり、

前記データパスは、XPath形式で記述され、

前記XPath形式は、アイテムのメタデータを表し、選択的に関連したXPath形式を表し、

前記関連したXPath形式は、フィールドの再使用のためのIDによる他のフィールドタイプを表すことを特徴とする請求項 3 3 に記載の記録媒体。

【請求項 3 5】

前記識別子情報が、各フィールドごとに割当てられた固有の識別子であり、
入力クエリで、フィールド識別子を用いて、他のフィールドを参照することができることを特徴とする請求項 3 4 に記載の記録媒体。

【請求項 3 6】

前記タイプ情報が、outputNamespaceによって与えられた他のメタデータのスキーマまたはMpeg 7 で定義された複合データタイプのネーム技術であり、

関連したXPath形式の開始点としての役割をすることを特徴とする請求項 3 4 に記載の記録媒体。